



(仮訳)

生物多様性及び生態系サービスに関する 政府間科学 - 政策プラットフォーム (IPBES)

「ネクサス評価」は、生物多様性、水、食料、健康、気候変動が絡み合うグローバルな危機を分析しています。

IPBES 専門家が、これら複数の観点から最良の結果を導く対策オプションを提示します。

「個別課題ごとの取組をつなぐ、統合的で順応型意思決定」

報告書の発表予定：2024年12月17日（火）午後1時（グリニッジ標準時）・
午後10時（日本標準時）

「生物多様性、水、食料、健康、気候変動のグローバルな危機は、個別に対処すると他方に意図しない結果を生むことが多いため、同時に対処する必要があります。ネクサス・アセスメントは、IPBES 関係者がこれまでに行った中で最も野心的な作業の1つであり、個別課題ごとの視点を越えた意思決定と行動を推進するべく、前例のない広範な対策オプションを提供します。連鎖する危機は互いに影響し合う可能性があります。ネクサス・アプローチでは、これらの危機の相互依存性を考慮し、複数のセクターやシステムをまたいで成果を改善する包括的な解決策を提供します。」

ポーラ・ハリソン教授、英国生態学・水文学センター、IPBES ネクサス評価共同議長

- 生物多様性、水、食料、健康、気候変動のネクサス要素間の複雑な相互関連性に対処
- さまざまなシナリオにより、これらの危機の将来の相互作用を2100年まで予測
- 生物多様性、水、食料、健康、気候システムの複数の観点から最良の結果を導くことに焦点を当てた、広範で具体的な対策オプションを提供
- 行動を起こさないこと、複数の危機に対して同時に対処しないことによるコストを検討
- 持続可能な開発目標、昆明・モンリオール生物多様性枠組、パリ協定の達成を支援
- 世界各地の57カ国から選出された165人の著名な国際的専門家による執筆
- 6,500件の文献を基にした3年に及ぶ執筆作業、総費用150万ドル以上
- ネクサスの各要素とその相互作用について、管理または関与している、あるいは影響し影響されているさまざまな個人や組織（政府、市民社会、先住民と地域コミュニティ、民間企業など）による意思決定に情報提供
- メディア発表予定：2024年12月17日午後1時（グリニッジ標準時）、午後10時（日本標準時）
- ソーシャルメディア：@IPBES #NexusAssessment

2024年12月17日（火）、生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学-政策プラットフォーム (IPBES) は、気候変動の文脈を考慮した、生物多様性、水、食料、健康の相互関連性に関する評価報告書（別称「ネクサス報告書」）を発表する予定です。本報告書は、これらの分野における仕事や報告に携わるすべての人に直接関係があり、価値のあるものです。

本報告書は、生物多様性、水、食料、健康、気候変動のネクサスの各要素および要素間における行動の機会を浮き彫りにし、相互に関連する対策オプション間のシナジー（相補性）とトレードオフ（排他性）を明らかにします。

1 つの要素に対処することが他の要素にどのようなプラスとマイナスの影響を与えるかを示し、成果を改善するために今すぐ実践可能で、複数の要素にわたって良い結果の得られる幅広い対策オプションも特定します。

本報告書は、3 年以上に及ぶ執筆作業と総額 150 万米ドル以上の費用を要しました。ポーラ・ハリソン教授（英国、英国生態学・水文学センター）とパメラ・マクエルウィー教授（米国、ラトガーズ・ニュージャージー州立大学）の 2 人の共同議長を筆頭に、世界全地域の 57 カ国から選出された 165 人のトップクラスの国際的専門家によって作成されました。科学論文、政府報告書、先住民と地域の知識を含め、気候変動の文脈における生物多様性、水、食料、健康に関する多様な証拠と知識を捉えた 6,500 件の文献に基づいています。

本報告書は、IPBES 総会第 11 回会合（#IPBES11、2024 年 12 月 10～16 日）で検討および承認される予定です。IPBES 総会は約 150 カ国の政府を代表し、生物多様性と生態系サービスのための科学・政策面の連携強化を目指します。主要メッセージ、調査結果、選択肢に焦点を当てた「政策決定者向け要約」は、2024 年 12 月 17 日（火）午後 1 時（英国グリニッジ標準時）、午後 2 時（中央ヨーロッパ標準時）、午前 8 時（米国東部標準時）、午後 10 時（日本標準時）に、ナミビアのウイントフックにてハイブリッド（対面およびオンライン）でメディア発表される予定です。世界のその他の時間帯については、<https://bit.ly/3WxVkf1> をご覧ください。ウェブキャストの同時配信リンク：
www.ipbes.net

メディア発表の事前登録は、10 月に開始されます。メディア発表の事前登録への招待を受けるには、IPBES メディアリストに登録されていないジャーナリストや報道機関の方は、こちらから登録する必要があります：<http://eepurl.com/hxkQgn>（メディアの方のみ）。

IPBES は、しばしば「生物多様性版の IPCC（気候変動に関する政府間パネル）」とも称されるように、意思決定者、人々や自然のために入手可能な最良の根拠を提供することを任務とするグローバルな科学政策機関です。

ネクサス報告書の重要な側面

生物多様性、水、食料、健康、気候変動に関連するグローバルな環境危機は、ほとんどの場合、個別のプロセス（個別の国際条約や課題ごとに設置された国家機関/当局など）によって別々に対処されてきました。気候変動のような 1 つの危機に対処する行動は、しばしば他の危機（特に生物多様性に関して）への悪影響を深刻化させました。これらの危機の一つ一つに関する膨大な科学的知識はありますが、このような危機の相互関連性に関する重要かつグローバルな統合分析は、これまで行われてきませんでした。

過去 10 年間にわたり IPBES によって公表された成果を踏まえて、ネクサス報告書では以下のことを行います。

- 5 つのネクサス要素間の現在の相互関連性と相互作用の概要を示し、最も影響を受けている人、最も危険にさらされている人、これらの相互作用から最も恩恵を受けている人について分析する。また、行動を怠った場合、およびネクサス要素を同時にではなく個別に対処した場合の経済的コストの具体的な試算も提示する

- 実現可能な将来のネクサス相互作用を探る。2050年までのシナリオを予測するだけでなく、2100年までの視野を考慮して、5つのネクサス要素内および全体の長期的な課題と行動の機会をよりよく理解する
- 同時に複数のネクサス要素に恩恵をもたらす統合された政策と行動のために、多種多様な対策オプションを提示する
- 公正で持続可能な未来を達成する目的にふさわしいガバナンスに焦点を当て、「ネクサス・ガバナンス」のロードマップを提供する

ネクサス報告書の構成

ネクサス報告書は、7つの章で構成されており、報告書の主要メッセージに対する科学的根拠を提供します。各章の内容は次の通りです。

1. ネクサスの紹介：評価の枠組みと政策的関連性の概説、ネクサス要素とその相互依存性の定義
2. 水、食料、健康、気候変動と生物多様性との相互作用における過去と現在の傾向と環境、社会、経済への影響の評価
3. ネクサス要素間の相互作用に関する将来予測と政策目標に沿った主要な要因の分析
4. 様々な持続可能な未来への移行を促進・加速できる、ネクサス全体の政策的および社会政治的な選択肢
5. ネクサス全体に良い結果をもたらすための、ネクサスの各分野における対策オプション
6. ネクサスの生物多様性に関連する要素に効果のある、公的および民間の資金調達に対する持続可能なアプローチを実現する選択肢
7. 選択肢、知識と技術のギャップ、能力開発、および意思決定への包括的アプローチのロードマップの要約と統合

期待される効果

IPBES ネクサス報告書では、以下のような効果が期待されます。

- 政策立案者や多様な関係者を含む意思決定者に、気候変動の文脈を考慮した、生物多様性、水、食料、健康の相互関連性に関して入手可能な最良の根拠、分析、選択肢を提供
- SDGs、昆明・モンリオール生物多様性枠組、パリ協定を同時に達成するために、より統合された意思決定と行動を促進
- グローバルな課題に取り組む際にさまざまな主体が果たす役割を認識し、強調

査読者と対象読者

可能な限り高いレベルの正確性、信頼性、政策関連性を確保するために、IPBES ネクサス報告書は、科学者、意思決定者（政府を含む）、実践者、先住民と地域の知識保有者から提出された数千件の外部レビューコメントを含む、オープンで透明性の高い外部レビュープロセスを通じて広範囲に査読されています。

ネクサス報告書は、政府や企業のリーダー、市民社会団体、先住民と地域コミュニティなど、幅広い意思決定者を対象に作成されています。

IPBES ポッドキャスト

本報告書の範囲、規模、重要性の詳細については、IPBES ポッドキャスト、*Nature Insight* のシーズン 4 を視聴してください。2024 年 11 月下旬以降、ポッドキャストの提供者から利用できます。

3 年間のスケジュール

2021 年 6 月	IPBES 加盟国の代表者で構成される IPBES 総会による、評価の仕様書である「 スコーピング報告書 」の承認。
2023 年 2 月	外部の専門家による各章の初稿の査読と、IPBES の専門家による査読コメントの反映（第 2 稿）。
2024 年 1 月	政府と専門家による、各章の第 2 稿と政策決定者向け要約の初稿の査読と、IPBES の専門家による査読コメントの反映（最終稿）。
2024 年 12 月	ナミビアのウィントフックで開催される IPBES11 総会における、加盟国による政策決定者向け要約の最終稿の審議。その後、2024 年 12 月 17 日にメディア発表予定。

発表場所：IPBES11、ナミビア・ウィントフック、2024 年 12 月 17 日

報道関係者以外の方がニュース速報、最新発表、専門家募集などの情報を受け取るには、以下のリンクより IPBES ステークホルダーとしてご登録ください：www.ipbes.net/stakeholders

IPBES について

生物多様性及び生態系サービスに関する政府間科学 - 政策プラットフォーム（IPBES）は、約 150 カ国の政府が加盟し、意思決定者からの要請に応じて、生物多様性と自然の寄与の状態を評価し、さまざまな社会経済的選択に基づいて将来の選択肢を概説する国際機関です。

IPBES の使命は、生物多様性の保全と持続可能な利用、長期的な人間の幸福と持続可能な開発のために、科学を通じて政策と決定を支援することです。

IPBES 事務局は、ドイツ政府がホストし、同国ボンの国連キャンパス内に置かれています。IPBES の活動には、世界中の数千人の科学者が、ボランティアとして貢献しています。彼らは各国政府または組織から推薦され、IPBES 学際的専門家パネルによって選出されています。

「IPBES 花粉媒介評価報告書」（2016 年発表）は、80 カ国以上の 1,300 を超えるメディアを介して 18 言語で報道されました。

ニュースリリース：<http://bit.ly/2sq6gbQ>

「IPBES 地域評価報告書」と「土地劣化と再生に関するテーマ別評価報告書」（2017 年発表）は、124 カ国以上の2,500 を超えるメディアを介して37 言語で報道されました。

ニュースリリース：<http://bit.ly/2C0tnNu> および <http://bit.ly/2ylipyo>

「IPBES 地球規模評価報告書」（2019 年発表）は、170 カ国以上の10,500 を超えるメディアを介して50 言語で報道されました。

ニュースリリース：<http://bit.ly/GlobalAssessment>

「IPBES 野生種の持続可能な利用に関する報告書」と「IPBES 価値評価報告書」（2022 年発表）は、100 カ国以上の1,800 を超えるさまざまなメディアを介して36 言語で報道されました。

ニュースリリース：https://bit.ly/IPBES_SUA および https://bit.ly/IPBES_VA

「IPBES 侵略的外来種評価報告書」（2023 年発表）は、105 カ国以上の2,400 を超えるさまざまなメディアを介して44 言語で報道されました。

ニュースリリース：<https://bit.ly/InvasiveMedia>

詳細に関するお問い合わせ先（英語）：media@ipbes.net www.ipbes.net

IPBES のソーシャルメディアアカウント：

x.com/@IPBES

facebook.com/IPBES

youtube.com/ipbeschanel

linkedin.com/company/ipbes

instagram.com/ipbes_

threads.net/@ipbes_

bsky.app/profile/ipbes.bsky.social

mas.to/deck/@ipbes